

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年12月22日

協議会名: 喬木村地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|----------------------------|---|--------------------------------|--|--|
| 北部タクシー(有) | 氏乗線(第5・6便) 矢筈こんにやく～飯田駅前 | <p>高齢者に対してバスの利用促進を行うことから、新規の65歳以上の村民の利用を28名程度見込んで目標利用設定並びに計画の策定を行った。</p> <p>関連して、バス利用方法等について、後期高齢者の医療制度説明会で毎月説明を行った他、高齢者の集会でも説明を行った。</p> <p>その他、中学3年生の保護者向けにバス利用に関するチラシを配布した。</p> <p>また、利用目標者数の推計に際しては新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | C <p>目標利用人数3,085人に対して、利用者は2,372人と目標値の76.9%となった。</p> <p>65歳以上の村民の方に発行する無料パスは83名から申請があり新規利用につながった。</p> <p>一方で、目標利用人数が達成できなかった主な原因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出及び公共交通機関の利用控えと思われる。</p> <p>目標利用人数の推計の際には利用者のうち5%程度が利用減となることを想定していたが、推計よりも大幅な利用減となった。</p> <p>実績は以下のとおり。 (括弧内は、村内在住65歳以上の利用者) 【氏乗線】 R2:2,575人(1,596人) R3:2,372人(1,212人)</p> | <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、利用者への体温計測やマスク着用、消毒液の噴霧を徹底する。</p> <p>また、感染対策をバス内で徹底しており、安心して利用できる旨を周知する。</p> <p>高齢者の利用促進を図るため、引き続き、高齢者の集会等において、無料パスやバス利用方法の周知を行う。また、毎月1回の後期高齢者医療制度の説明会においても周知する。</p> <p>加えて、自身が利用する便を分かりやすくまとめた「マイパスポート」の作成支援を行うことで、継続的なバス利用者の増加を図る。</p> <p>高校進学予定の中学3年生に対し、更なる利用促進のためバス利用に関する周知を実施する。</p> |